



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)三宅 正彦
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部副本部長 (氏名)大石 正昭 (TEL)03(5213)5516
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	45,737	△3.8	865	△40.3	1,625	81.8	509	—
25年2月期第1四半期	47,529	—	1,449	—	893	—	△3	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 5,785百万円(—%) 25年2月期第1四半期 △2,991百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	4 43	— —
25年2月期第1四半期	△0 03	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	188,179	121,245	63.3
25年2月期	183,905	120,287	64.3

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 119,036百万円 25年2月期 118,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	—	—	17 50	17 50
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	17 50	17 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,500	△4.5	△1,500	—	△1,200	—	△2,300	—	△19 86
通期	180,000	△3.0	1,200	—	2,100	112.3	△800	—	△6 90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期1Q	115,783,293株	25年2月期	115,783,293株
26年2月期1Q	3,748,598株	25年2月期	3,794株
26年2月期1Q	115,061,069株	25年2月期1Q	115,780,161株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)における我が国経済は、新政権による金融緩和及び経済政策への期待感から株価が上昇するとともに円安基調で推移し、輸出にも持ち直しの動きが見られるなど、製造業を中心に企業業績の改善が見られる一方、欧州債務問題を中心とした海外景気の下振れリスクなどにより不透明感の残る状況となりました。

アパレル業界においては、高額商品を主体として一部に売上の回復傾向が見られたものの、引き続き消費者の根強い節約志向などもあり依然として不安定な状況で推移しました。

このような経営環境を踏まえ当社グループは、平成24年4月に策定した中期経営計画を今年4月に更新するとともに、前期に引き続いて不採算店舗の閉鎖を実施する一方で新ブランドの開発と出店も積極的に進めました。

その結果、売上高は457億37百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

損益面では、営業利益は8億65百万円(前年同期比40.3%減)となり、経常利益は16億25百万円(前年同期比81.8%増)となりました。

また、投資有価証券売却益等による5億59百万円の特別利益を計上する一方、固定資産除却損及び投資有価証券評価損等による7億58百万円の特別損失を計上したことなどにより、当社グループの四半期純利益は5億9百万円(前年同四半期は3百万円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

(東京スタイルグループ)

(株)東京スタイルは、ブランド別・店舗別損益管理手法の精度向上により、昨年度より実施したコスト構造改革の一層の推進を図るとともに、「ヴァンドゥー・オクトーブル」をはじめとする強化拡大するブランドと、「レベッカ ミンコフ」等の育成するブランドに経営資源を集中し、プロパー消化率の向上と収益体質の強化に取り組みました。

一方で、「ナノ・ユニバース」や「ローズ バッド」等、個性あるブランドを持つグループ各社による新業態分野への進出や新規商業施設への積極的な出店により、事業基盤の拡大を推し進めました。

その結果、東京スタイルグループの売上高は203億65百万円(前年同四半期は205億28百万円)となりました。

(サンエー・インターナショナルグループ)

企画力及び営業力の強化並びに経営のスピードアップを目的として3月に営業本部を廃止し、当社事業組織全体を統括するポジションとして事業統括を設置する一方、(株)サンエー・インターナショナルのブランドである「フリーズマート」を(株)FREE'S INTERNATIONALへ移管することによりセレクトショップ事業の集約及び強化を図りました。

また、国内における高収益ブランドと高収益の店舗網の構築を掲げ、新たに米国西海岸のライフスタイルセレクトショップである「プラネットブルーワールド」を日本で初めて出店したほか、当社ブランドである「パーリーゲイツ」の新業態店舗として「パーリーゲイツ ザ グリーン ゴルフストア」をスタートしました。さらに、当社グループのWEB通信販売サイトである「セレクトソニック」と(株)FREE'S INTERNATIONALとの共同で新ブランド「エーピーティーエム ナインフォーファイブ トーキョー」を立ち上げました。

これらの取り組みにより、サンエー・インターナショナルグループの売上高は253億53百万円(前年同四半期は270億27百万円)となりました。

(その他)

持株会社である当社及び当社グループの生産、物流機能を担う(株)TSI・プロダクション・ネットワークの事業により、売上高は29億74百万円(前年同四半期は41億87百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成25年5月31日)	増減
総資産	183,905	188,179	4,274
負債	63,618	66,934	3,316
純資産	120,287	121,245	957
自己資本比率	64.3%	63.3%	△1.0%
1株当たり純資産	1,021.78円	1,062.49円	40.71円

総資産は、現金及び預金の減少（前期末比49億35百万円減）、有価証券の減少（前期末比21億13百万円減）、未収入金の減少等による流動資産「その他」の減少（前期末比6億4百万円減）等があったものの、受取手形及び売掛金の増加（前期末比23億30百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比32億22百万円増）、有形固定資産の増加（前期末比20億31百万円増）、投資有価証券の増加（前期末比45億79百万円増）等により、42億74百万円の増加となりました。

負債は、未払法人税等の減少（前期末比17億1百万円減）、未払消費税等の減少等による流動負債「その他」の減少（前期末比7億11百万円減）等があったものの、支払手形及び買掛金の増加（前期末比24億63百万円増）、賞与引当金の増加（前期末比7億54百万円増）、繰延税金負債の増加等による固定負債「その他」の増加（前期末比25億90百万円増）等により、33億16百万円の増加となりました。

純資産は、利益剰余金の減少（前期末比15億16百万円減）、純資産の控除項目である自己株式の増加（前期末比27億86百万円増）等があったものの、その他有価証券評価差額金の増加（前期末比48億18百万円増）等により、9億57百万円の増加となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は40.71円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年4月12日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（連結納税制度の適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,248	34,312
受取手形及び売掛金	12,937	15,268
有価証券	2,617	503
商品及び製品	19,317	22,796
仕掛品	621	317
原材料及び貯蔵品	206	253
その他	6,245	5,641
貸倒引当金	△719	△1,043
流動資産合計	80,475	78,050
固定資産		
有形固定資産	19,999	22,030
無形固定資産		
のれん	3,237	2,996
その他	3,092	3,061
無形固定資産合計	6,330	6,057
投資その他の資産		
投資有価証券	56,056	60,636
その他	21,541	21,642
貸倒引当金	△497	△237
投資その他の資産合計	77,101	82,041
固定資産合計	103,430	110,129
資産合計	183,905	188,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,759	22,223
短期借入金	3,983	4,447
1年内返済予定の長期借入金	3,152	2,936
未払法人税等	2,548	847
賞与引当金	1,343	2,097
ポイント引当金	416	443
株主優待引当金	17	12
返品調整引当金	319	578
資産除去債務	94	65
その他	10,943	10,232
流動負債合計	42,580	43,883
固定負債		
社債	32	22
長期借入金	9,405	8,746
退職給付引当金	1,464	1,451
役員退職慰労引当金	912	869
資産除去債務	2,279	2,426
その他	6,944	9,534
固定負債合計	21,037	23,051
負債合計	63,618	66,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	70,956	70,956
利益剰余金	24,973	23,456
自己株式	△1	△2,788
株主資本合計	110,927	106,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,288	12,107
繰延ヘッジ損益	12	27
為替換算調整勘定	72	277
その他の包括利益累計額合計	7,373	12,411
新株予約権	272	260
少数株主持分	1,713	1,948
純資産合計	120,287	121,245
負債純資産合計	183,905	188,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	47,529	45,737
売上原価	21,602	20,707
売上総利益	25,926	25,030
販売費及び一般管理費	24,477	24,165
営業利益	1,449	865
営業外収益		
受取利息	168	197
受取配当金	31	25
為替差益	—	86
投資有価証券評価益	—	10
デリバティブ評価益	—	379
その他	159	170
営業外収益合計	359	869
営業外費用		
支払利息	62	36
店舗等除却損	14	5
為替差損	0	—
投資有価証券評価損	555	—
デリバティブ評価損	205	—
減価償却費	26	21
その他	51	45
営業外費用合計	914	109
経常利益	893	1,625
特別利益		
固定資産売却益	314	5
投資有価証券売却益	34	440
新株予約権戻入益	—	11
その他	12	101
特別利益合計	361	559
特別損失		
固定資産除却損	5	311
減損損失	29	1
投資有価証券売却損	—	49
投資有価証券評価損	655	358
その他	35	38
特別損失合計	725	758
税金等調整前四半期純利益	530	1,426
法人税、住民税及び事業税	936	804
法人税等還付税額	—	△158
法人税等調整額	△635	116
法人税等合計	301	763
少数株主損益調整前四半期純利益	228	663
少数株主利益	232	153
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3	509

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	228	663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,409	4,821
繰延ヘッジ損益	△20	16
為替換算調整勘定	203	273
持分法適用会社に対する持分相当額	6	10
その他の包括利益合計	△3,220	5,121
四半期包括利益	△2,991	5,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,256	5,550
少数株主に係る四半期包括利益	264	235

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,522	27,006	47,529	—	47,529	—	47,529
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	20	26	4,187	4,213	△4,213	—
計	20,528	27,027	47,555	4,187	51,743	△4,213	47,529
セグメント利益	21	1,506	1,528	3,924	5,452	△4,003	1,449

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,003百万円は、連結会社間の内部取引消去額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において29百万円であります。

また、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において10百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	東京スタイ ルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,344	25,345	45,689	47	45,737	—	45,737
セグメント間の 内部売上高又は振替高	21	7	28	2,926	2,955	△2,955	—
計	20,365	25,353	45,718	2,974	48,693	△2,955	45,737
セグメント利益	15	1,004	1,019	1,838	2,858	△1,992	865

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、持株会社である当社等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,992百万円は、連結会社間の内部取引消去額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループ全体の生産、物流機能を統合するため、前第3四半期連結会計期間において、(株)サンエー・インターナショナルの連結子会社である(株)サンエー・プロダクション・ネットワークは、当社の直接所有による連結子会社となるとともに、商号を(株)TSI・プロダクション・ネットワークに変更しております。

これにより、当該事業に関するセグメント区分を、「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントから「その他」に変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間において、当社は「調整額」に含めて表示しておりましたが、前第4四半期連結会計期間より、アパレル事業を支える各種インフラ機能の構築と管理運用事業を、2社の基幹事業会社より当社に集約・専門化したことなどに伴い、当社を報告セグメントに帰属しない事業セグメントとして、「その他」の区分に表示することに変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年4月12日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、東京証券取引所における市場買付の方法により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,786百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は、2,788百万円となっております。